

# 福島第一原子力発電所 1号機ベント管下部周辺の調査結果 について(2日目)

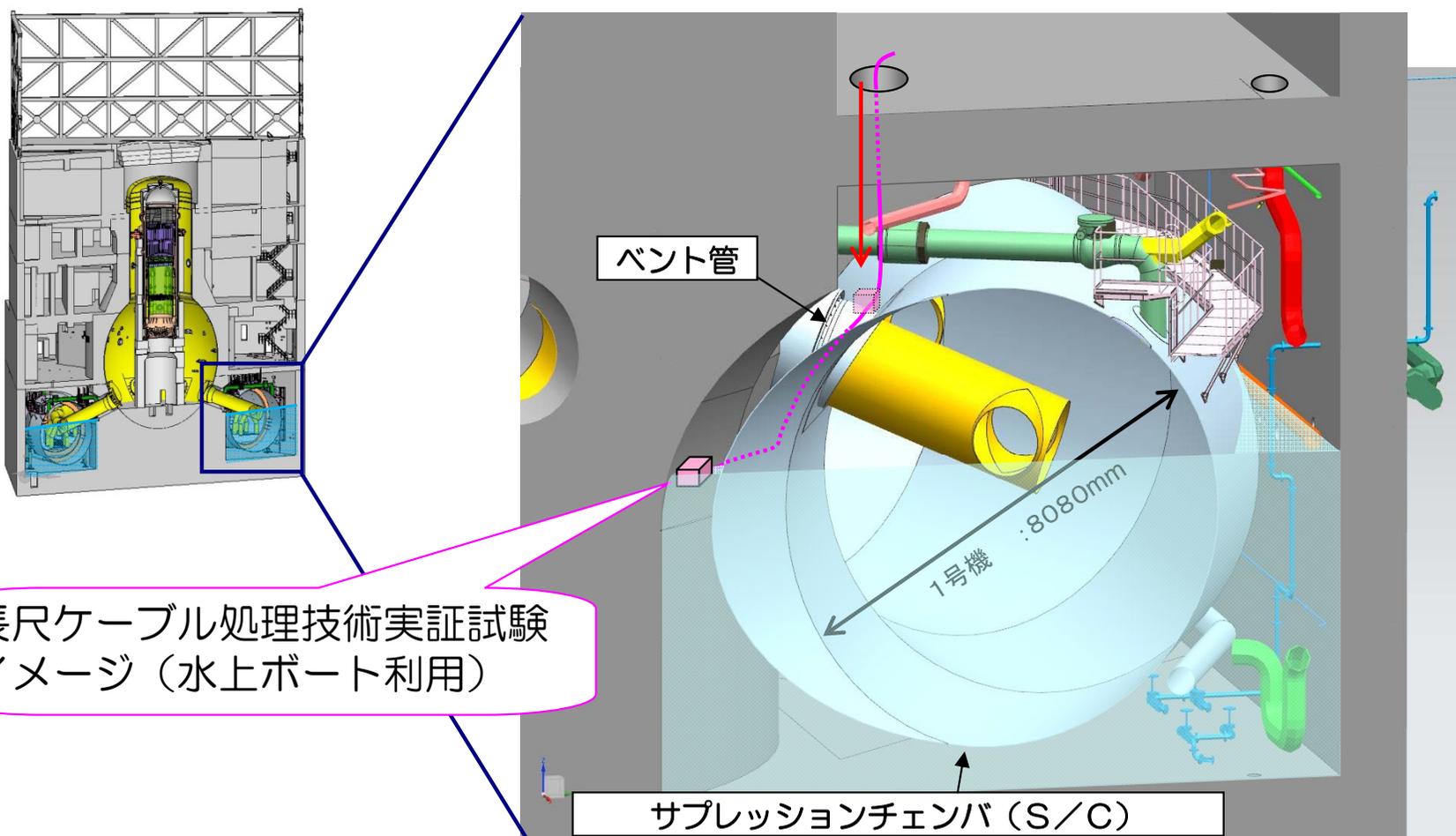
平成25年11月14日  
東京電力株式会社



東京電力

---

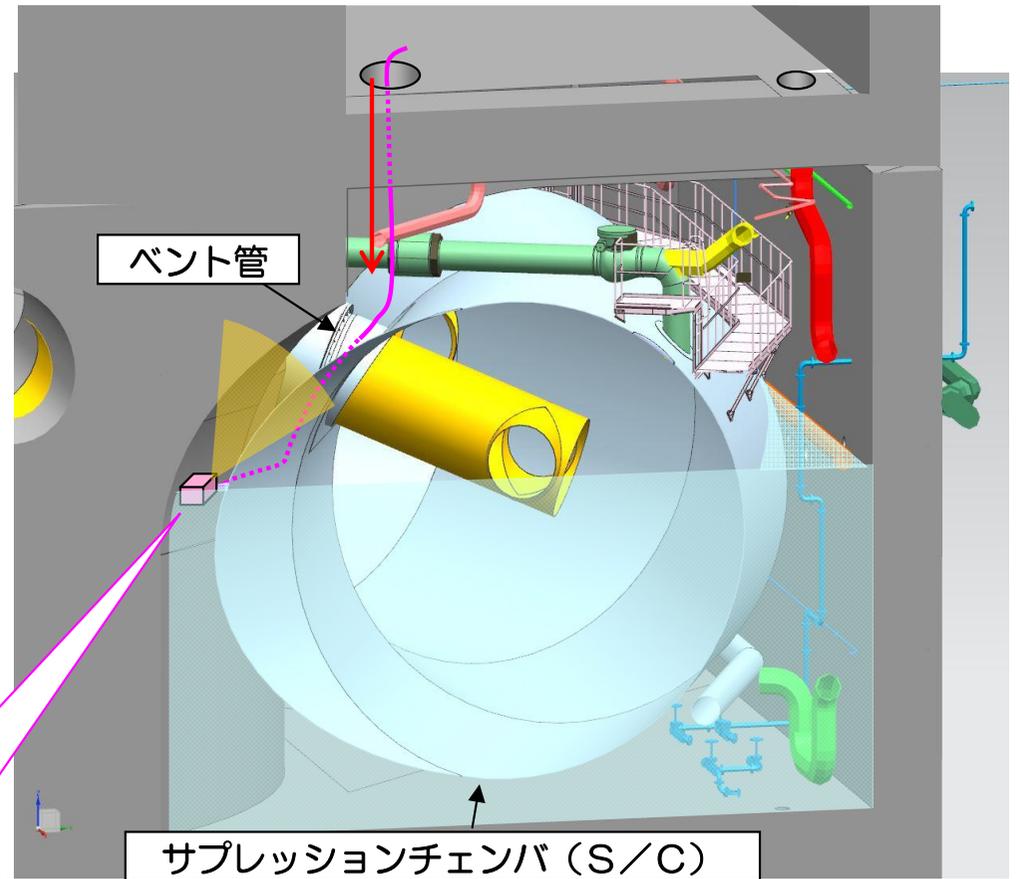
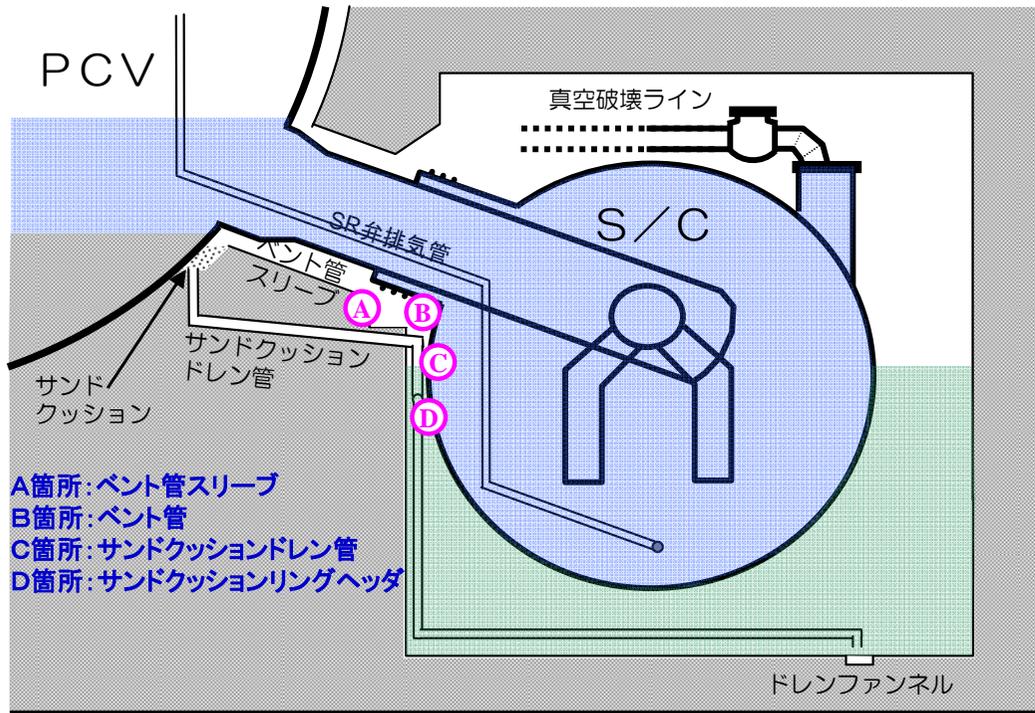
「水中遊泳ロボットWG（主査：九州工業大 浦教授）」にて支援し、資源エネルギー庁 平成24年度発電用原子炉等事故対応関連技術基盤整備事業（遠隔技術基盤の高度化に向けた遊泳調査ロボットの技術開発）において開発した長尺ケーブル処理技術の実証試験を1号機原子炉建屋で実施し、得られた調査結果を報告する。



長尺ケーブル処理技術実証試験  
イメージ (水上ボート利用)

# 1. 概要

●水上ボートに搭載したカメラ映像により、ベント管およびサンドクッションドレン管からの漏水有無及び外観を確認した。  
併せて、ベント管下部の線量測定を実施した。

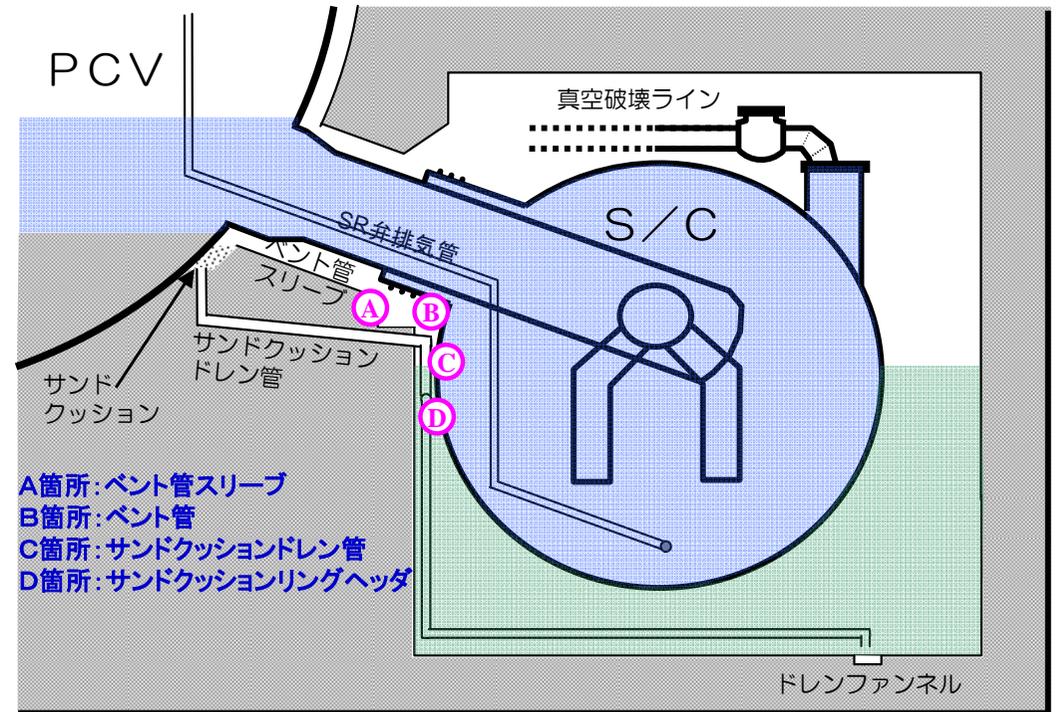
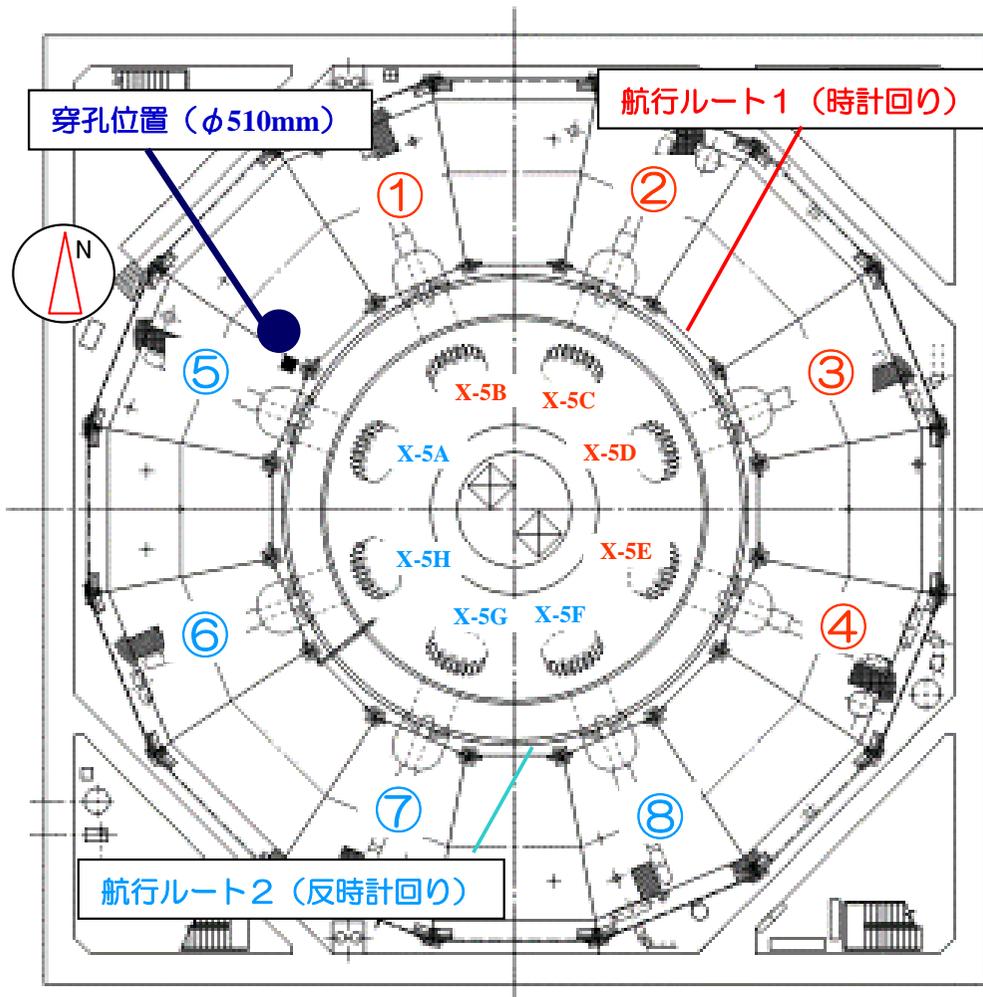


水上ボート

水上ボート 工場での航行試験の様子

# 2. 調査箇所

■実施日：平成25年11月14日  
■調査箇所：航行ルート2 ⑤～⑧



水上ボート航行ルート

ベント管下部 および サンドクッションドレン管調査結果  
⑤～⑧を調査した結果、漏えいおよびサンドクッションドレン管の破損は確認されなかった。

(代表例)  
⑤ベント管状況

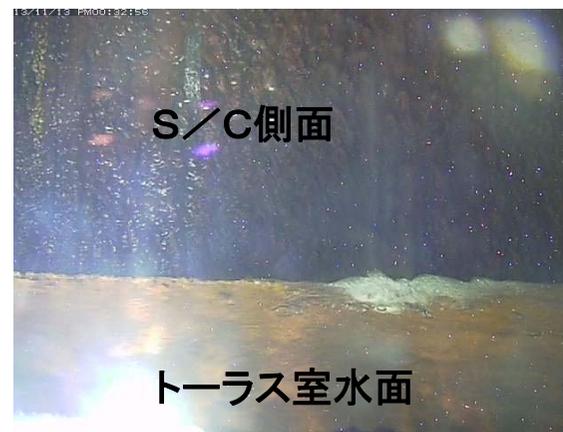
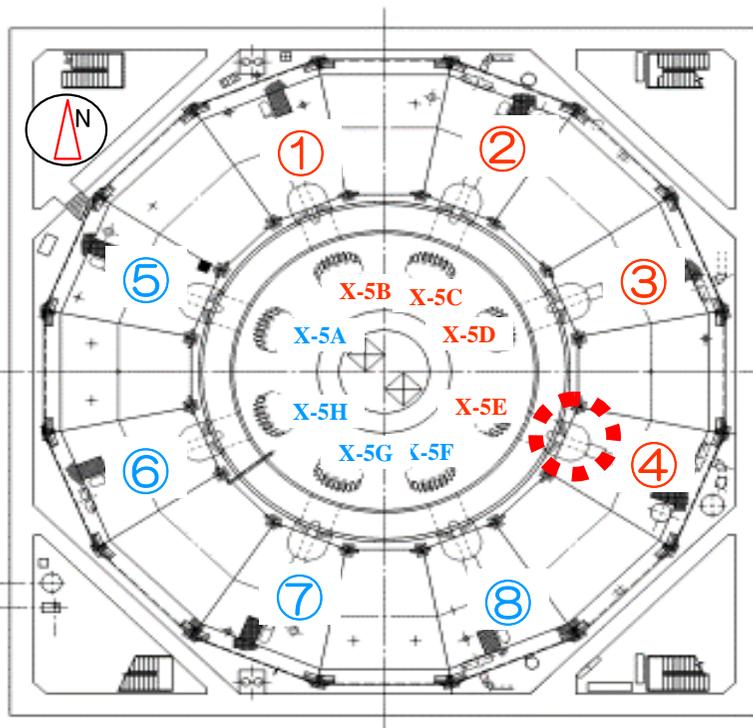


【線量測定結果】

●航行ルートでは約0.9～約2.0Sv/hであった。

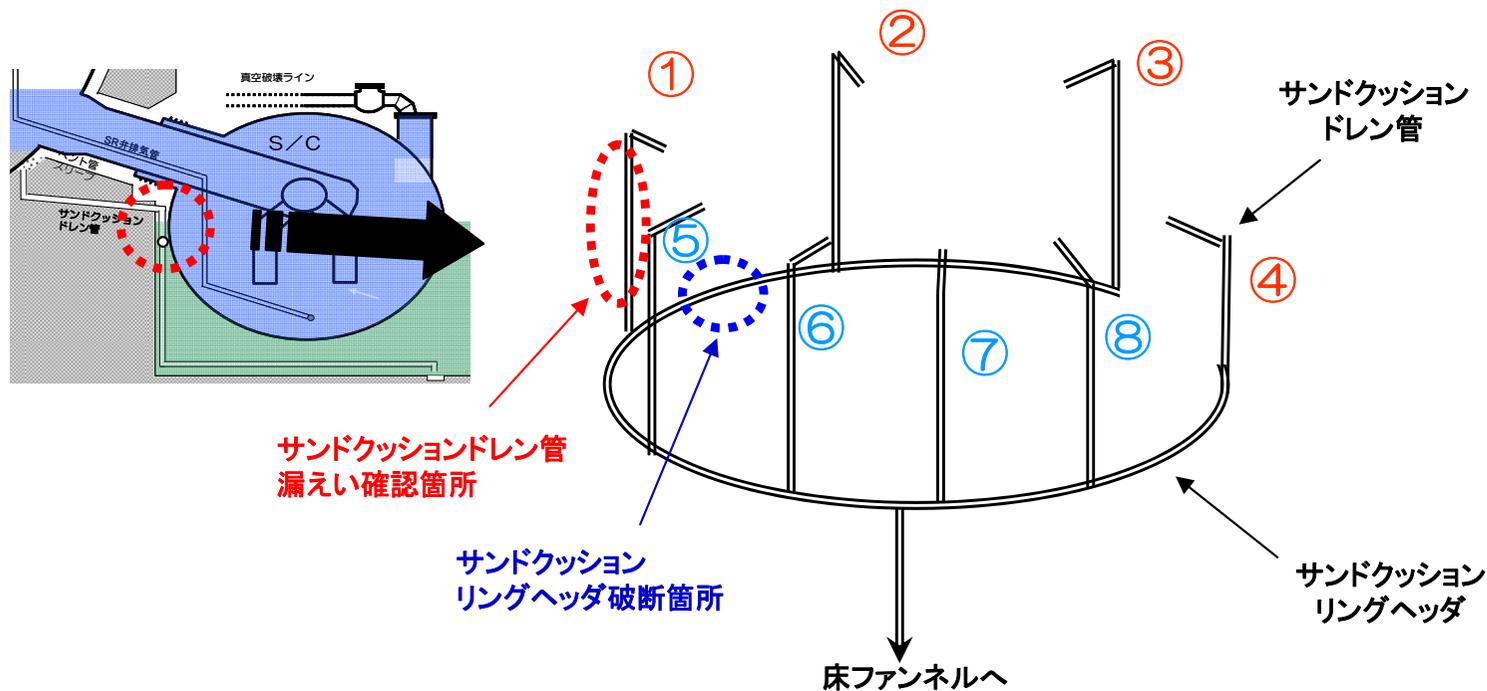
## 【ベント管下部調査結果】

④のベント管（S/C側）上部方向からの漏えいを確認した。



## 【サンドクッションドレン管調査結果】

- ①のサンドクッションドレン管の破損および漏えいを確認した。
- ①～②間のサンドクッションリングヘッドの破損を確認した。



※ サンドクッションリングヘッドは、「C」の字。(③～④間は繋がっていない)

・今回得られた情報を今後の調査工法や燃料デブリ取り出し工法等の検討に活用していく。